

**長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式**

①研究課題名	通所リハビリテーション利用者における口腔機能の実態調査
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
あがの市民病院併設の五頭の里（通所リハビリテーションに通っている利用者） 2020.1月～3月	
③概要	
近年、オーラルフレイルが提唱され、要介護状態にならないように口腔機能低下予防の必要となっている。今回、通所リハビリテーション利用者を対象に比較的、日常生活動作が保たれ、常食を食べている利用者の口腔機能の実態調査を行い、その傾向の分析を行った。口腔機能は咬合支持をアイヒナー分類、口腔内の状態をKT バランスチャートの口腔環境、咀嚼機能は咀嚼グミ、口腔リテラシーをアンケートで評価分析を行った。常食を摂取していても、歯の欠損、口腔内環境の悪化がみられ、咀嚼力の低下や口腔リテラシーの低下がみられており、今後、栄養状態の低下や摂食嚥下障害のリスクがみられた。その為、口腔機能の低下を早期発見・早期介入の必要性が考えられた。	
④申請番号	（倫理委員会申請時の受付番号。未採番の場合は空欄。）
⑤研究の目的・意義	通所リハビリテーション利用者を対象に比較的、日常生活動作が保たれ、常食を食べている利用者の口腔機能の実態調査を行い、その傾向の分析を行い、口腔機能の低下を早期発見・早期介入の必要性を明確にする。
⑥研究期間	2020.1月～3月
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟県厚生連医誌に投稿
⑧利用または提供する情報の項目	疾患名、性別、年齢、日常生活動作、摂食嚥下機能、咀嚼機能、口腔リテラシーのアンケート
⑨利用の範囲	新潟県厚生連医誌に投稿
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 リハビリテーション科 片桐啓之
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 リハビリテーション科 片桐啓之